

新規活動予定のテーマ

日建連 ICT推進部会
ICT企画専門部会

2022 年 2 月 16 日

検討の背景

- ◎ 現場や協力会社では早いスピードでデジタル化が進んでいるが新たに課題がでてきている
- ◎ 日建連の役割は建設業界における共通課題に取り組むべき



- ◎ ICT推進部会内はBIMが部会化され 3専門部会
- ◎ 改めて業界共通の課題出しを行い検討
- ◎ ICT企画専門部会を中心に新規取組テーマについて協議

予定テーマ



協力会社認証基盤



現場CO₂排出量



CCUSデータ活用



資機材管理

テーマ1：協力会社認証基盤

◎ 課題

- 元請が協力会社に利用を推奨するシステムが増加しており、協力会社はその初期設定時に技能労働者情報などが必要であるが、現場毎に同じ情報を登録していて手間がかかっている



◎ 実現したいこと

- 既に登録済の技能労働者情報があるため、認証基盤として簡易な作業で登録できるようにしたい



既に建設キャリアアップシステム（CCUS）に登録済の技能労働者情報の活用について、日建連建設キャリアアップシステム推進本部と連携しCCUSと調整したい

テーマ2：現場CO₂排出量

◎ 課題

- 現場ではCO₂排出量算出に苦労しており、各社でバラバラに対応をしている



◎ 実現したいこと

- 現場で正確かつ簡単にCO₂排出量のデータ収集を可能にする環境については非競争領域と考え、業界として共通化をしていきたい
- 現場の省力化に向けて、例えば使用電力量は電力供給会社からデータを提供してもらいたい

日建連環境委員会温暖化対策部会と連携して検討を進めていきたい。



テーマ3：CCUSデータ活用

◎ 課題

- 建設キャリアアップシステム (CCUS) に技能労働者情報などが蓄積されているが、入退場履歴以外に活用できるところがある



◎ 実現したいこと

- CCUSデータを情報共有し活用していくために、現状できることと、今後取り組める可能性のあることに整理していきたい
- 整理した内容を日建連建設キャリアアップシステム推進本部と連携しCCUSに提言したい



- ・ 元請が入退場情報を簡易に確認
- ・ 安全管理 品質管理のソリューションと連携した付加サービス
- ・ 高所作業車使用時の有資格チェックと利用の可否連携

テーマ4：資機材管理

◎ 課題

- 各現場での資機材管理に時間がかかっている



◎ 実現したいこと

- 資機材管理業務の標準化による生産性向上
- 資機材管理の共通プラットフォーム化



- ・ RFIDコード、QRコード体系標準化
- ・ 共通利用できるコード等の検討

ご清聴ありがとうございました

ICT推進部会 ICT企画専門部会

(社名五十音順)

大林組	西田 雄三
鹿島建設	狩野 茂
鴻池組	岩下 智
東急建設	矢代 彰紀
西松建設	古城 康彦
フジタ	鍵野 巨弥